

菅

SUGA

木

KISHIO

士

SOLO

雄

EXHIBITION

展

休 館 日：月曜日

開館時間：午前10時～午後6時

(入場は午後5時30分まで)

毎週金曜日は午後8時まで

(入場は午後7時30分まで)

入 場 料：一般 800円(640円)

大学・高校生 560円(450円)

中・小学生 240円(200円)

()内は前売・団体30名以上料金

ハローダイヤル：043-227-8600

主 催：千葉市美術館/読売新聞社/

美術館連絡協議会

協 賛：花王株式会社

1998
5.12^{TUE} ▶ 6.14^{SUN}



千葉市美術館
Chiba City Museum of Art

菅木志雄氏(1944年生まれ)は、1970年代以降から現在までわが国の現代美術をリードし、同時代の美術に多大な影響を与え続けている数少ないアーティストのひとりです。

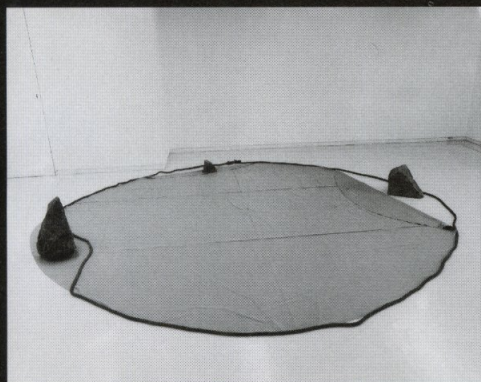
菅氏が制作を開始した1960年代後半は、現代社会における規範や制度が根底から問い直されていた状況にあり、氏は同様の問いをアートの世界に向けることから出発しました。自然や人工の素材にほとんど手を加えずに空間に設置する氏のこころみは、ものものの関係、それらと空間や「場」との関係、さらには空間そのものの関係性をわたしたちに提示し

菅木志雄展

SUGA
KISHIO
SOLO
EXHIBITION

ています。そして、その姿勢から生み出された「もの」は西洋的な美学による作品とは異なり、わが国における茶室や庭園などの伝統的な感性の結びつきを見ることができます。

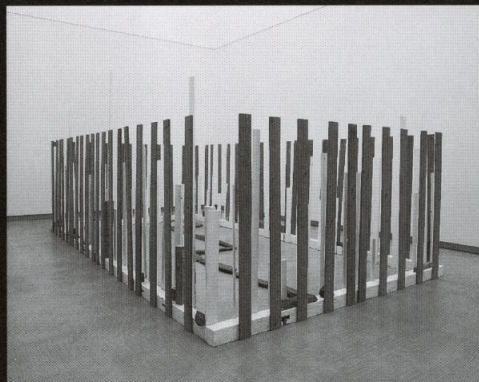
菅氏のはじめての回顧展である本展は、広島市現代美術館、伊丹市立美術館、神奈川県民ホールギャラリーおよび千葉市美術館との共同事業として準備されました。巡回の最後にあたる本館では他館未発表の作品や新作を含めた約50点によって、驚くほど豊饒な世界を開示し続けているアーティストの、今日にいたるまでのあゆみを紹介します。



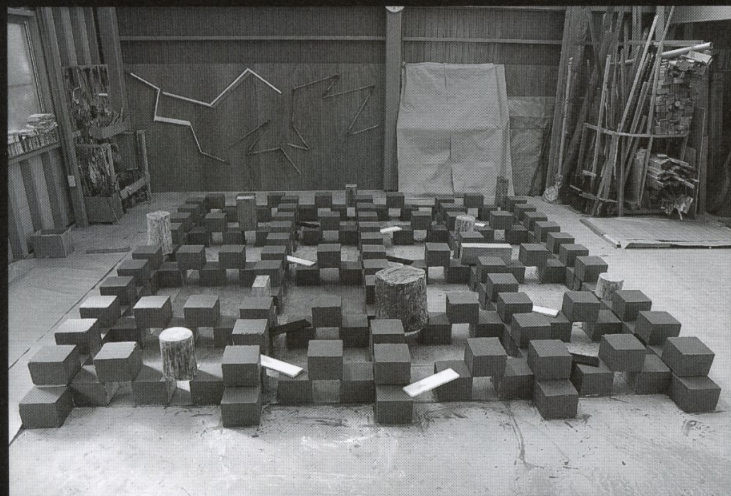
中律一地に沿って (1978)



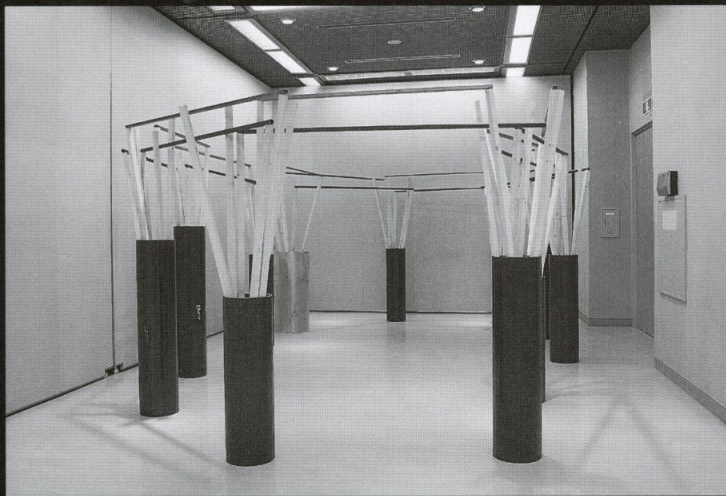
縁辺仕帯 (1987) 東京画廊蔵



体の側縁 (1990) 個人蔵



景間律 (1994) 千葉市美術館蔵



周集系 (1998)

掲載作品撮影：安齋重男・山本双六・佐藤 毅

シンポジウム

「展示を通してみる菅木志雄の作品について」

司 会：榎木野衣(美術評論家)

パネラー：柏木智雄(横浜美術館学芸員)

斎藤郁夫(山口県立美術館専門学芸員)

出原 均(広島市現代美術館学芸係長)

薬科英也(本館学芸員)

日 時：5月23日(土) 午後2時より

会 場：千葉市美術館11階講堂 *先着順に150名まで受付

作家によるイベント

日 時：6月13日(土) 午後2時より

会 場：千葉市美術館11階講堂

次回予告

東山魁夷展(6月27日-8月2日)

千葉市美術館

〒260-8733 千葉市中央区中央3-10-8

TEL 043-221-2311

JR東日本千葉駅利用

- 東口より徒歩約15分
- 京成バス大学病院行(のりば⑦)「大和橋」下車徒歩2分
- 京成バス矢作台市営住宅・川戸行(のりば⑦)または小湊バス八幡宿行(のりば④)「広小路」下車徒歩1分
- 無料巡回シャトルバス・チーバス(のりば⑩)
- 「中央区役所・美術館前」下車
- 11:00-18:00の毎時05分と35分に発車(水曜日運休)

京成電鉄千葉中央駅利用

- 東口より徒歩約10分

■*来館者用駐車場は少ないので、自家用車での来館はご遠慮ください。

千葉市美術館

